

○議長（小林哲雄）

日程第4 陳情第4号 小児医療費助成制度の拡充を求める陳情を議題といたします。

本件につきましては、平成26年12月8日付けで、教育民生常任委員会委員長より審査結果の報告があったものです。報告を事務局長に朗読させます。

事務局長。

○事務局長（加藤順一）

朗読いたします。平成26年12月8日、開成町議会議長、小林哲雄様。教育民生常任委員会委員長、菊川敬人。

陳情審査の報告について。

本委員会に付託された陳情を審査の結果、次のとおり決定したので、開成町議会会議規則第92条第1項の規定により報告いたします。

記、受理番号、第4号、受理年月日、平成26年10月14日、陳情者の住所及び氏名、開成町延沢1788番地3、松浦高子。件名、小児医療費助成制度の拡充を求める陳情。審査の結果、採択とすべきもの。

以上です。

○議長（小林哲雄）

教育民生常任委員長に報告を求めます。

菊川委員長。

○1番（菊川敬人）

それでは、報告をいたします。

陳情第4号 小児医療費助成制度の拡充を求める陳情の審査報告。教育民生常任委員会委員長、菊川敬人。

平成26年開成町議会第1回定例会11月会議において、教育民生常任委員会に付託された陳情第4号 小児医療費助成制度の拡充を求める陳情について、当委員会の審査経過と結果を報告いたします。

陳情書の含意は、神奈川県下の自治体では、子育て支援として、小児医療費助成制度対象年齢を小学校6年生まで、あるいは中学校卒業までに引き上げているために、自治体間の格差が生じている。近隣自治体が行っている小児医療費助成制度、通院と同程度に拡充を求めるものでありました。この陳情は、当委員会へ付託された後、12月会議において、行政側より小児医療費助成制度の拡充について、今までの要望等を勘案し、平成27年度予算では、小学校6年生までを助成制度対象に拡充するとの答弁がありました。拡充を図ることの答弁を受け、当委員会では、近隣町の制度状況を全員で再確認するとともに、平成27年度からの実施に大きな期待を寄せ、全員一致で本陳情を採択することに合意いたしました。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（小林哲雄）

報告が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。

よろしいですか。

(「なし」という者多数)

○議長(小林哲雄)

ないようですので、続いて討論を行います。討論のある方いらっしゃいますか。

(「なし」という者多数)

○議長(小林哲雄)

討論はないようですので、採決を行います。

この陳情に対する委員長の報告は、採択すべきものであります。

陳情第4号 小児医療費助成制度の拡充を求める陳情を採択することに賛成の方は起立を願います。

(起立全員)

○議長(小林哲雄)

ありがとうございました。お座りください。

起立全員によって、採択することに決定いたしました。